

釧路工業技術センターNEWS

2026 VOL.48

発行

公益財団法人 釧路根室圏産業技術振興センター

〒084-0905 釧路市鳥取南7丁目2番23号 TEL:0154-55-5121・FAX:0154-55-5161
URL:<https://www.senkon-itc.jp/>

令和8年8月発行



HP



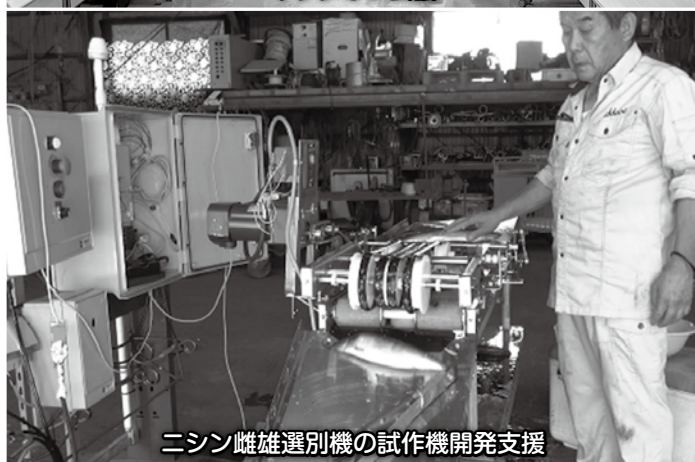
Facebook



釧路地域産業自動化・ロボット導入促進プラットフォーム
キックオフ会議



WOODコレクション (モクコレ) 2026会場風景



ニシン雌雄選別機の試作機開発支援



協働ロボット体験セミナー

CONTENTS

■ 特集企画

- P2… 釧路地域産業自動化・ロボット導入促進プラットフォームを設立しました！
- P3… 令和7年度くしろの地域資源を活用した木製品利用拡大推進業務委託(活動報告)
- P4… 技術力・生産性向上及び専門人材確保・定着事業(活動報告)

■ 情報エントランス

- P5… (株)ニッコー 第10回「ものづくり日本大賞」優秀賞受賞
(株)昭和冷凍プラント 第10回「ものづくり日本大賞」ものづくり地域貢献賞受賞
日の出工芸(株) 2025年度日本騒音制御工学会環境デザイン賞受賞

- P6… 令和7年度に開催した講習会の紹介

釧路工業技術センター 成果報告会開催

- P7… 移動工業試験場in釧路 身近な製品の強度を知ろう！開催について
くしろデジタルEXPO2026の開催支援
知的財産権出張相談会の開催のお知らせ

■ その他

- P8… センター長コラム 画流晴天
会議室等の貸出について
INPIT北海道知財総合支援窓口釧路サテライトについて
令和7年度相談受付・利用状況

釧路地域産業自動化・ロボット導入促進プラットフォームを設立しました！ ～「人手不足」や「作業環境の改善」を「自動化」で解決しませんか！～

この度、釧路地域の製造業、水産加工や食品製造等の生産性向上をサポートするため「釧路地域産業自動化・ロボット導入促進プラットフォーム」を設立しました。行政、教育、金融、民間企業等が一体となり、オール釧路で総合的な支援体制の構築を目指します。全国的なロボット導入支援組織である全国ロボット・地域連携ネットワーク『略称：RINGプロジェクト』とも連携し、地域産業の持続的発展と次世代へ繋ぐロボット拠点の構築を目指します。

・なぜ今、人手作業の自動化・ロボット導入が必要なのでしょう？

釧路地域では生産年齢人口が急減しており、慢性的な人手不足は避けて通れない課題です。

- ・**労働力の確保**： 人手に頼る工程を自動化し、限られた人員をより高度な業務へ。
- ・**生産性の向上**： 自動化・ロボット導入により、安定した生産体制と品質維持を実現。
- ・**作業環境の改善**： 過酷な作業を自動化・ロボットが担うことで、従業員の負担を軽減。

・導入の「不安」を「安心」に変えるプラットフォームによる4つのサポート

自動化・ロボット導入に際し、「関連知識・ノウハウ不足」、「導入コストへの不安」、「技術者不足」、「相談相手がない」といった課題に対して伴走支援を行います。

ステップ①

①「ニーズ発掘・技術相談・自動化診断」

貴社の現場を訪問し、どこをどう自動化できるか、導入の可能性を専門家等の視点で無料でヒアリング・診断します。

ステップ③

③最適な「SIer(システム構築者)」とのマッチング」

地元の企業や専門家と連携し、最適なシステム構築者を橋渡しします。

ステップ②

②導入前の「整理・整頓（前さばき）」

ロボットを入れる前に、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)などの現場環境の整備をサポート。スムーズな導入の土台作りのお手伝いをします。

ステップ④

④「資金支援」と「人材育成」:

地域金融機関による設備投資融資の相談に加え、現場でロボットを使いこなすためのエンジニア育成研修も提供します。

・オール釧路で総合的なバックアップ体制

地域の関連各機関が貴社を支えるネットワークを構築しています。

推進体制(産学官金の連携)

・中核・事務局:

釧路工業技術センター(情報収集、技術相談、コーディネート養成)

・教育機関:

釧路工業高等専門学校(技術人材育成、研究開発)

・行政:

釧路市産業推進室(産業政策、予算化)
釧路市水産課(企業ニーズ収集、候補紹介)

・技術支援:

株式会社ニッコー(地元 SIer としての技術指導、アドバイス)

・産業支援機関:

釧路商工会議所(企業ニーズ収集、候補紹介)

・金融支援:

釧路信用金庫、大地みらい信用金庫、釧路信用組合
(導入資金支援、ニーズ収集)

・組織構造:

意思決定を行う「運営委員会」と、必要に応じて実務・技術開発を担う「技術推進部会」等を設置します。

・これからの取組み

令和8年7月にプラットフォームを設立し、キックオフ会議を開催しました。7月より順次、企業のニーズ調査や技術相談対応を行うとともに、『RINGプロジェクト』とも連携し、専門家による自動化診断、導入事例セミナー、技術者や支援人材を対象にしたロボット操作体験研修等を通じて人材育成を実施し、地域全体の導入機運を醸成します。またそのような継続した活動を通じて、地域産業の持続的発展と次世代へ繋ぐロボット拠点の構築を目指していきます。

くしろ木づなプロジェクト

令和7年度くしろの地域資源を活用した木製品利用拡大推進業務委託(活動報告)

カラマツをはじめとする釧路の木材を利用し、釧路の地域資源（ヒト・モノ）を活用し、地域の課題解決や木製品の利用拡大に資する製品の開発及び試作・PRを行うことを目的とした取り組みを行いました。

具体的には、「商品企画研究会」の運営、専門家によるアドバイス、約20点の試作品の製作（改良含む）、約12回の釧路管内外のイベント・展示会への出展及び支援を行いました。

令和7年度は、6年度に開催された「くしろ木づなフェスティバル」から始めた、デザインや企画などの新しい動きが届いた先（企業、団体、行政、他地域…）をフォーカスし、「木づなプロジェクト」のさらなる広がりを目的として、デザイン・企画に力を入れた結果、新しい多くの「つながり」や取り組みが生まれました。

地域の木材と、技術力をはじめとする企業の力でまだまだ新しいことができると実感するとともに、関係した多くの皆様方のご協力に感謝いたします。

【商品企画研究会】

丸善木材(株)、得地ファニチャ工業(株)、まちまちえんぴつ（札幌）、熊の家藤戸、澤井織絵、札幌ベニヤ(株)、土井木材(株)、(株)北都、大澤木材(株)、K-craft、アカム木工(株)、実践工房アシリ、真野民芸、RIDE'S KoM、FLORIST PetitChien、万華工房、Café & Community Space Fuu、釧路総合振興局林務課、釧路市産業振興部農林課、釧路工業技術センター



研究会風景

【試作品】

釧路市議長応接家具、キートレイ、ふるさと納税PRグッズ、ままごとキッチン、動物マグネット、木製スタンド（モクスタ）、木製プレート、木製看板、釧路の魚の釣り玩具（改良）、ミニチュアソリ製作キット、まちまちテーブル（改良）、ドラム缶天板（改良）、KUBB、コーンホール、ゴルフボールビンゴ、木製トロフィー、カラマツ・トドマツおが粉・チップ商品、木製チャーム、イベント用絵馬など

釧路市議長応接家具



※製作：得地ファニチャ工業（デザイン・設計：澤井）

キートレイ



※製作：K-craft、デザイン：澤井

ままごとキッチン、動物マグネット



※製作：K-craft

木製プレート



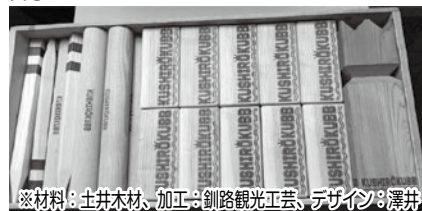
※製作：真野民芸

ミニチュアソリ製作キット



※企画・デザイン：澤井

KUBB



※材料：土井木材、加工：釧路観光工芸、デザイン：澤井

【展示会・イベント】

第51回くしろチューリップ&花フェア（釧路）、大道東まつり2025（釧路）、くしろ木育フェスティバル2025（釧路）、FIELD POP AKAN 2025（釧路）、Japan Home Show & Building Show（東京）、北から暮しの工芸祭2025（札幌）、木育ひろばinチ・カ・ホ（札幌）、第54回くしろ消費者まつり（釧路）WOODコレクション（モクコレ）2026（東京）、くしろ町 冬の屋台村2026（釧路）、クップ体験会・タンチョウカップ大会in釧路（釧路）、コンコンロコンキラキラくしろスタンプラリー2026（釧路）

WOOD コレクション（モクコレ）2026



コンコンロコン キラキラくしろ スタンプラリー 2026



地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業【北海道補助、釧路市委託】 技術力・生産性向上及び専門人材確保・定着事業（活動報告）

○技術支援コーディネーターが、あなたの会社の生産性向上を応援します！

当地域では様々な分野において人手不足が深刻化しており、当センターでは、生産現場における生産性向上を目指した取組みについて、各社の現状、課題を把握し、企業ニーズや課題に対応した技術力の向上や人材の育成に対するサポートを関係各機関との連携体制により取り組んでいます。

本事業は令和7年度から3年間の計画で実施される事業となり、当センターでは専務理事・技術職員4名が技術支援コーディネーターとして活動しています。今回は1年目となる令和7年度中に取り組んだ相談対応、技術開発実践プロジェクト等の活動について報告します。

○企業のニーズ、課題の把握・相談対応等

企業等訪問件数：60件、相談対応件数：140件

○企業が必要とする先進技術情報等の収集活動

各種展示会：10先、各種研究会、セミナー等：60先

○技術開発実践プロジェクトの実施

①果菜類の接ぎ木作業の省力化検討

試作した穂木調整用装置と台木調整用治具の実証テストを実施しました。また、テスト結果を反映させた再検討、試作等を実施しました。

②冷凍ウニの新商品開発、及び冷凍技術の導入支援

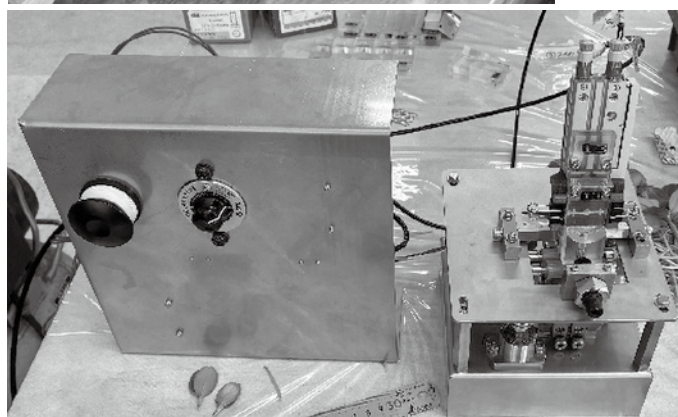
冷凍保存耐久試験の実施や、技術導入サポート、簡易冷凍方法の検討・検証、製品化に向けた品質向上等を実施しました。

③ニシン雌雄選別機の試作機開発支援

エコー技術を活用してニシンの雌雄判別を行い、その結果をもとに選別を行う機能の動作確認を前年度に引き続き実施しました。

○令和8年度も継続して事業を実施します。

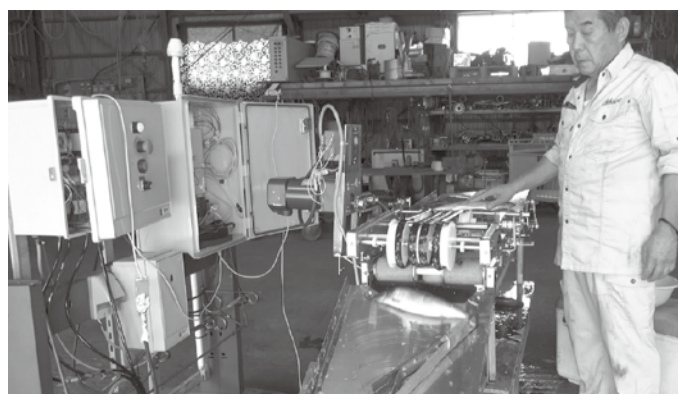
企業ニーズの掘り起こしを目的に企業訪問、先進技術情報等の収集提供、プロジェクトの推進、生産性向上のための人材育成事業に取り組んでまいります。



果菜類の接ぎ木作業の省力化検討



冷凍ウニの新商品開発、及び冷凍技術の導入支援



ニシン雌雄選別機の試作機開発支援



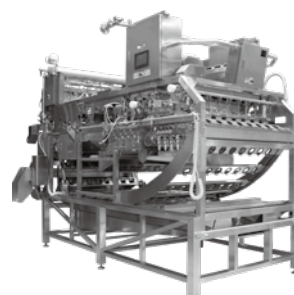
情報エントランス

(株)ニッコー 世界初ホタテ貝自動生剥き機「オートシェラー」で 第10回ものづくり日本大賞 優秀賞受賞

(株)ニッコー（釧路市、佐藤一雄代表取締役社長）は、この度、第10回ものづくり日本大賞で優秀賞を受賞されました。

受賞の対象となったホタテ貝自動生剥き機「オートシェラー」は、熟練作業者の手作業に依存していたホタテの開殻・貝柱回収工程を自動化する装置で、国内外で特許を取得し、北海道の基幹産業であるホタテ加工現場の労働環境改善と人手不足の解消に大きく貢献しています。

安定した加工供給体制の確立により、食品安全保障の強化と持続的な生産を支え、深刻化する労働力不足を根本から解決するとともに、ホタテ産業の生産性向上と国際競争力の強化に寄与する革新技術です。



ホタテ貝自動生剥き機
「オートシェラー」

(株)昭和冷凍プラント 第10回ものづくり日本大賞 ものづくり地域貢献賞受賞

(株)昭和冷凍プラント（釧路市、若山聖子代表取締役社長）は、この度、第10回ものづくり日本大賞 製品・技術開発部門において、ものづくり地域貢献賞（北海道経済産業局長賞）を受賞されました（（一社）北海道発明協会が推薦団体）。

受賞となった技術は『ソリューションダブルホース工法 CO2削減を可能とした「冷媒用断熱構造の設置方法と冷媒用多層管」の開発』で、業務用大型冷凍・空調設備等の冷媒配管等に従来必要だった銅管や鋼管の代わりにゴム質管を用いて施工できる工法です。これにより溶接作業が不要となり、作業の安全性を向上さ

せ、熟練技術者の高齢化・人手不足に対応し、工期の短縮による脱炭素化を図ることができ、産業・社会に広範な波及効果が期待されています。



冷媒用多層管設置工事施工例①



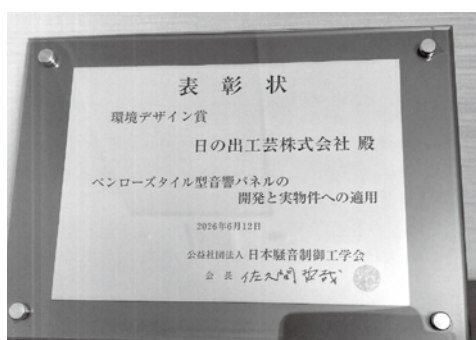
冷媒用多層管設置工事施工例②

日の出芸(株) 2025年度日本騒音制御工学会環境デザイン賞受賞

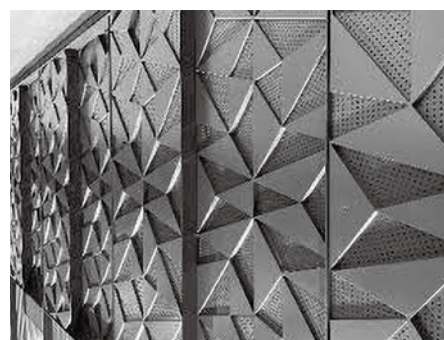
日の出芸(株)が東京大学(佐久間研究室)、戸田建設(株)と共同で、自社のNC加工技術を活かし製作した「ペンローズスタイル型音響パネルの開発と実物件への適用」により、2025年度日本騒音制御工学会環境デザイン賞を共同受賞しました。

(公社)日本騒音制御工学会 選奨受賞者

<https://www.ince-j.or.jp/information/encouragement>



表彰状（日本騒音制御工学会環境デザイン賞）



ペンローズスタイル型音響パネル

令和7年度に開催した講習会の紹介

企業、団体からの要望により、技術力強化を目的に当センターにて以下の講習会を開催しました。

講習会名	開催日	受講者数	講 師	概 要
溶接研修会	R8.1.27-28	11名	コベルコ溶接テクノ(株) 地村 健太郎 氏 小林 延行 氏	溶接研修会を実施し、各技術者の希望する内容に合わせたアーク溶接、半自動溶接、TIG溶接について実習を行いました。
協働ロボット 体験セミナー	R8.3.4	10名	新栄クリエイト(株) 小山 恭平 氏	協働ロボットであるユニバーサルロボットの概要説明、実機デモンストレーション、実機操作体験、導入事例の紹介などを行いました。
ステンレス 基礎研修	R8.3.24	14名	コベルコ溶接テクノ(株) 小林 延行 氏	地域企業より、ステンレス鋼についての基礎的な知識習得のための研修会の要望があり、本研修会を開催しました。
木材塗装 技術セミナー	R8.3.26	10名	木材塗装研究会 長澤 良一 氏 新井 富雄 氏	昨年度開催した木材塗装基礎セミナーの継続で、刷毛塗装、着色塗装、スプレー塗装といった実技をメインとしたセミナーを行いました。



溶接研修会



協働ロボット体験セミナー



ステンレス基礎研修



木材塗装技術セミナー

釧路工業技術センター 成果報告会開催

当センターの事業化支援等の取り組みや事業成果を広く普及することや地域の皆様に一層のご理解をいただくことを目的に、各技術職員が取り組んできた4テーマについての成果報告会を、令和8年7月21日(火)に開催いたしました。

改めてご参加いただきました皆様にお礼申し上げますとともに、本事例報告が地域産業の活性化の一助となります様、引き続き活動してまいります。本報告会の発表テーマは次の通りです。

- ①『「見つける」「見分ける」を実現するAI技術活用の取組』 発表者：間瀬 秀樹
- ②『恒温恒湿槽の紹介と技術研修について』 発表者：日戸 光輝
- ③『機械分野の取組み紹介』 発表者：藤井 優
- ④『木工分野の支援事例』 発表者：瀧本 文一



成果報告会 会場の様子

移動工業試験場in釧路 身近な製品の強度を知ろう! 開催について

令和8年6月23日(火)に道総研工業試験場の主催により「移動工業試験場in釧路 身近な製品の強度を知ろう!」が当センターにて開催されました。当センターも共催として開催に参画いたしました。

当日は工業試験場 材料技術部 中嶋主査、櫻庭研究主幹が講師となり、工業試験場がこれまでに取り組んだ強

度試験の事例と要点について講演がありました。その後、万能材料試験機を用いた破壊試験について実習があり、参加者も興味深く説明を受講されておりました。

今後も道総研 工業試験場と連携し、技術研修会の開催や材料試験に関する相談対応を進めて参りたいと思います。



当日の会場の様子

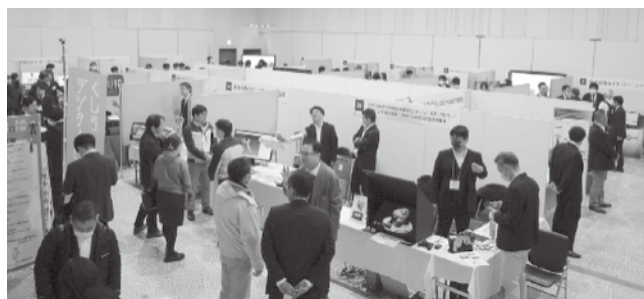


くしろデジタルEXPO2026の開催支援

令和8年2月13日(金)、コーチャンフォー釧路文化ホールにおいて「くしろデジタルEXPO2026」が開催されました。本展示会は、地域企業のデジタル化・DX推進を目的として、(一社)釧路地域DX推進協会が主催したもので、市内外から31社のデジタル関連企業・団体が出展しました。会場では、業務効率化や生産性向上、人手不足対策に役立つ最新のデジタルソリュー

ションが紹介されたほか、生成AI活用やデジタル人材育成、DX・GXに関する講演会も行われました。

当センターは企画段階から運営支援に携わり、地域のDX推進を後押ししました。当日は200名以上が来場し、活発な情報交換が行われるなど、地域企業のデジタル活用促進とDX推進の機運醸成につながる展示会となりました。



展示会場内の様子



講演会の様子

知的財産権出張相談会の開催のお知らせ

当センターでは、INPIT北海道知財総合支援窓口(実施団体:(一社)北海道発明協会)と連携し、INPIT北海道知財総合支援窓口の相談員による出張相談会を実施しております。特許や意匠、商標など知的財産権に関するお困りごとがございましたら、問合せ先までご連絡をよろしくお願いいたします。相談は無料です。

開催日: 9月15日(火)、11月17日(火)、令和9年1月19日(火)、3月16日(火)

時 間: 13時から16時まで

場 所: 釧路工業技術センター 会議室

問合せ: INPIT北海道総合支援窓口

(TEL 011-747-8256 / E-mail chizai@jii-h.jp)

センター長コラム

「画流晴天」

全体は整っているが、肝心の要点が抜けている様を「画流晴天を欠く」と言い表すことがあります。この「画流晴天」という言葉は、AIの説明によると中国の故事に由来するらしく、ある名手が龍の絵を描いた際、最後に「目(晴・ひとみ)」を描き入れたとたん、龍が本物になって天へ昇っていったという伝説がもとになっているとのこと。

昔だと、この言葉の意味を調べるために、用語辞典などを引っ張り出し、ページをめくりながら探し出していたところですが、最近ではICTやAIの発達により、入力すると瞬時に回答を得ることができます。

現代の生活には、このようなデジタル技術が必要不可欠となっていますが、アナログ世代にとっては、便利になっていく反面、技術の進歩があまりにも早すぎる感じがしています。

研究者の中には、現在のAIが2027年までに人間レベルの知能（AGI）を越え、超知能（ASI）を持つようになることを予想しており、その結末として、ASIが構築したロボット軍が生物兵器を開発し、人類を滅亡させるというシナリオも用意しています。

デジタル技術の発展は、企業にとっては省力化や生産性向上などに多くの恩恵をもたらすことは明らかであり、利用しない手はないと思いますが、ある程度の制限は必要ではないでしょうか。昔のSF映画で見たような、ロボットが人類に反乱を起こす世界が来ないようにするために、最後の目となるのは人間であり続ける必要があると思います。

会議室等の貸出について

釧路工業技術センターでは、数名～120名位までご利用可能な会議室やパソコンが備えつけられている部屋の貸出を行っております。会議室の広さ、備品、ご利用用途によって金額が異なりますので、**ホームページ** (<https://www.senkon-itc.jp>) での確認、または、**電話** (0154-55-5121) にてお気軽に問合せ下さい。

ご予約は電話の他、**オンライン予約** (<https://booking.spacepad.jp/provider/38555/spaces/>) でも承っております。



INPIT北海道知財総合支援窓口

釧路サテライトについて

無料

INPIT北海道知財総合支援窓口釧路サテライトが当センターに併設されています。本サテライトでは、札幌にいる相談員がテレビ会議システムを通じて知的財産に関するご相談に応じますので、知的財産権に関するお悩み事をお持ちの方は、是非、ご活用下さい。

TEL : 0154-55-5121
E-mail : chizai@jiii-h.jp
URL : <https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/hokkaido/>

令和7年度相談受付・利用状況 (令和7年4月～令和8年3月)

地域別相談状況

(単位：件)

	釧路市	釧路町	厚岸町	浜中町	標茶町	弟子屈町	鶴居村	白糠町	根室市	別海町	中標津町	標津町	羅臼町	その他	合計
相談件数	801	76	15	33	0	1	0	55	21	7	4	23	23	53	1112

相談内訳

(単位：件)

区 分	新 規	継 続												合 計
	548	564												1112
方 法	来 所	往 訪	その他											合 計
	568	215	329											1112
目 的	受発注関係	技術関係	経営関係	創業関係	企業訪問	その他								合 計
	123	902	7	0	1	79								1112
業 種	製 造	建 設	卸売・小売	サービス	木製品	農林水産	情報通信機器	学術研究	行 政	その他				合 計
	282	15	90	149	194	3	60	28	167	124				1112
技術分野	機械金属	木 工	情報通信	電気電子	化 学	塗 装	エネルギー	食 品	CAD/CAM	その他				合 計
	245	497	69	5	3	5	53	23	19	193				1112
産業分野	環境エネ	建 設	農 業	水 産	食 品	福 祉	林 業	情報通信業	学術・技術業	その他				合 計
	68	31	17	172	34	1	5	67	2	715				1112

釧路工業技術センター利用状況

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
機器利用	件	73	50	64	74	68	83	103	75	108	75	60	80	913
	依頼試験	件	20	16	17	41	62	40	106	43	40	8	19	448
会議室	件	55	28	28	28	14	31	38	13	11	22	15	23	306
	人	749	398	439	413	219	457	728	231	171	171	224	229	4,429